

年次有給休暇を利用して 家族と地域と自分の時間を作りましょう！

厚生労働省では、平成27年度に引き続き新庄市と連携を図りながら、地域における休暇取得促進の働きかけを行う「地域の特性を活かした休暇取得促進のための環境整備事業」を行います。

新庄まつりの期間(8月24日～26日)など地域のイベントに合わせて、年次有給休暇を活用して家族と触れ合う時間を作っていただくなど、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を図る環境づくりに取り組みましょう。

なぜ休暇の取得が必要なの？

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現のためには、労働時間や休日数、年次有給休暇の取得状況など、従業員の健康と生活に配慮し、多様な生き方に対応したものへ改善することが重要です。

年次有給休暇をしっかりと取得できないと…

- ◆労働者のストレス増加
- ◆職場の雰囲気悪化
- ◆残業などのコストの増加

心身ともに疲労感
仕事の能率低下



計画的な年次有給休暇の取得により…

- ◆仕事の生産性の向上!
- ◆企業イメージの向上!
- ◆優秀な人材の確保!

地域イベントへの参加
私生活の充実
仕事へのやる気向上



年次有給休暇の取得促進

従業員にも会社にもメリット

新庄・最上地域でもこんな取組をしている 事業場があります！



毎年、新庄まつりの8月25日を一斉休業日として、年間カレンダーに組み込んでいます。

年次有給休暇とは別に、年5回のリフレッシュ休暇を導入しています。



GWなど祝祭日が飛び石になっている場合に、休日の橋渡しとして計画的付与制度を活用し、長期連休を実現しています。



働き方・休み方改善ポータルサイト

取組事例や自己診断を活用して働き方・休み方改善の ヒントを見つけよう

- ◆働き方・休み方「見える化」診断
- ◆会社の診断に沿った対策方法の提案
- ◆働き方・休み方改善ハンドブックを掲載
- ◆企業における取組事例を詳しく紹介

働き方・休み方改善ポータルサイト

検索



こんな活用方法があります

2016年 8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

新庄まつり



秋の紅葉の季節に、大型連休を設定し、心も体もリフレッシュしましょう。

休暇取得奨励日

「新庄まつり」に合わせて休暇を設定しましょう。また各地域で開催される花火大会や神社祭り、温泉まつり、灯籠流しなどにも活用しましょう。



土日祝とプラスワン休暇を合わせたり、計画的付与で大型連休を計画しましょう。

2016年 11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

プラスワン
休暇

計画的付与で大型連休



2017年 2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	30			

プラスワン休暇

新庄雪まつり

新庄・最上地域には他にも
多種、多彩なまつりや
イベントがあります。
日程等については…

観光もがみ

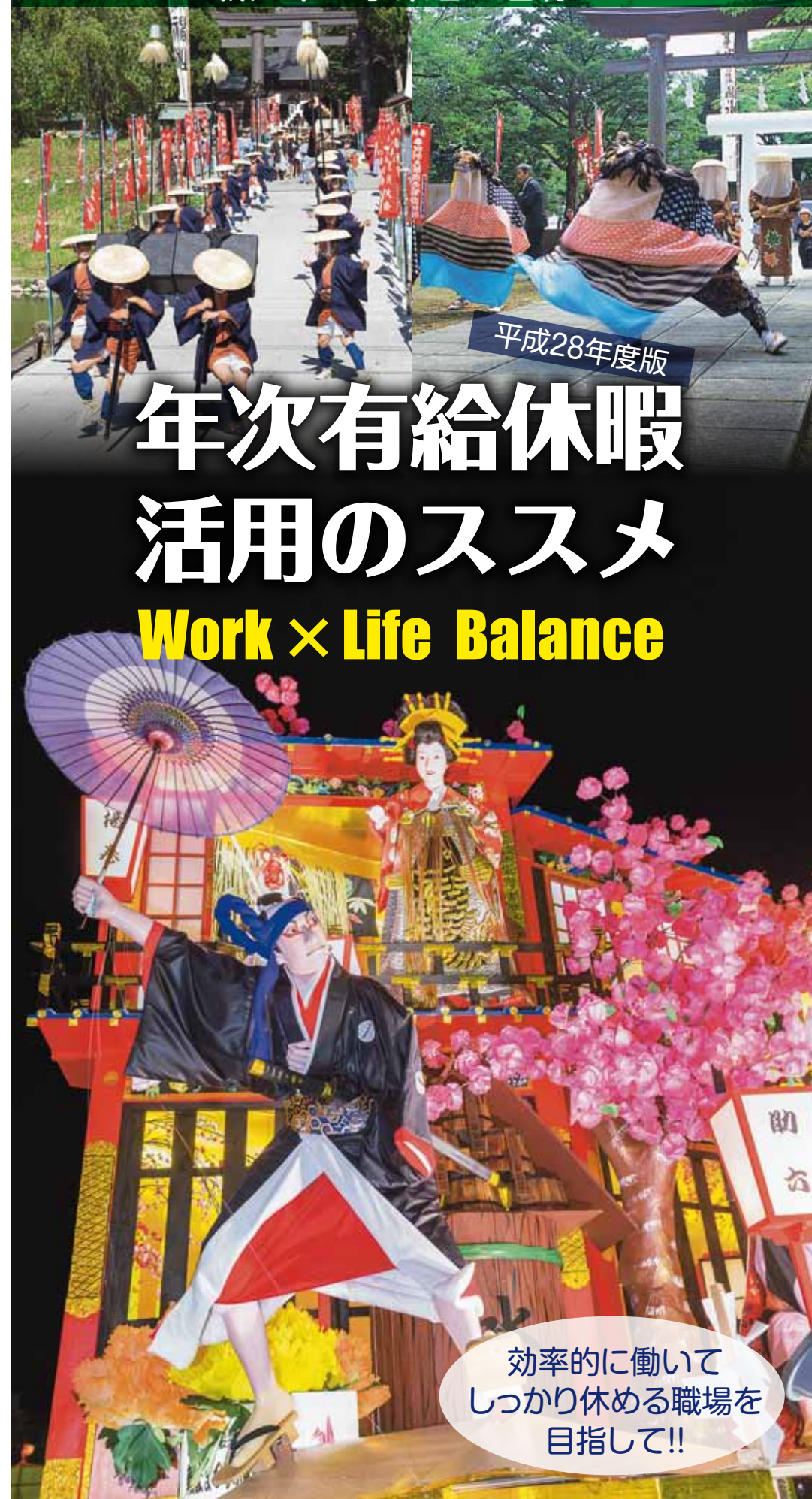
検索



問い合わせ先

【厚生労働省委託事業実施機関】 株式会社 東北情報センター
〒996-0001 山形県新庄市十日町6162番10 TEL 0233-29-2411

新庄市の事業者の皆様へ



効率的に働いて
しっかり休める職場を
目指して!!



厚生労働省

山形労働局

新庄労働基準監督署



新庄市

休暇取得に向けた環境づくりに取り組むことが大事です！

休暇の取得促進に向けて、それぞれの立場で皆様が当事者となって取り組むことが必要です。例えば、以下のような取組が考えられます。

具体的には…

1 経営のトップによる社内への
休暇取得促進の呼びかけ

2 管理者が率先して
休暇を取得

3 労働組合等による企業、
労働者への働きかけ

4 バースデー休暇や半日休暇
など多様な休み方の検討

などが
考えられます

休暇を取得することで「心身の健康につながる」、「モチベーションが向上する」などたくさんのメリットがあります。

Step 1 労働時間等見直しガイドライン

1 仕事の仕方を見直して、労働時間を短縮しましょう

従業員が健康で充実した職業生活を送れるよう、労働時間を短縮し、生活時間を十分確保できるようにしましょう。

2 従業員一人ひとりのさまざまな事情へ対応して、働く意欲を高めましょう

- 労働時間等の設定の改善にあたって、労使による話し合いの体制を整備しましょう。
- 従業員一人ひとりのさまざまな事情を踏まえ個々に対応しましょう。

3 経営者が率先して取り組みましょう

経営者は労働時間について積極的に理解を深め、自ら率先し職場の環境を変えるための意識改革や柔軟な働き方の実現に取り組みましょう。



Step 2 事業場での具体的な取組

1 労使間の話し合いの機会をつくる

従業員の労働時間や心身の健康状態、年次有給休暇の取得状況などを労使で共有しましょう。

2 年次有給休暇を取得しやすい環境整備

年次有給休暇を取得しやすい雰囲気づくりを進め、取得状況をこまめに確認するなどしましょう。

3 所定外労働時間を削減する

ノー残業デーを導入したり、長時間労働が続いている場合は、その原因を検討し業務内容を見直しましょう。



Step 3 年次有給休暇の「計画的付与制度」の活用

年次有給休暇の計画的付与制度とは

年次有給休暇の付与日数のうち、5日を除いた残りの分については、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。この制度を導入することによって、休暇取得の確実性が高まり、予定した活動を行いやすくなります。

年次有給休暇の付与日数のうち5日は、個人が自由に取得できる日数として必ず残しておかなければなりません。残りの日数は計画的付与の対象にできます。

〈例1〉年次有給休暇の付与日数が10日の従業員

5日	5日
労使協定により計画的に付与できる	従業員が自由に取得できる



〈例2〉年次有給休暇の付与日数が20日の従業員

15日	5日
労使協定により計画的に付与できる	従業員が自由に取得できる

企業や事業場の実態に応じた方法を活用しましょう

1 企業または事業場全体の休業による一斉付与方式

全従業員に対して同一の日に年次有給休暇を与える方法。製造部門など、操業を止めて全従業員を休ませることのできる事業場などで活用されています。

2 班・グループ別の交代制付与方式

班・グループに交代で年次有給休暇を付与する方法。流通・サービス業など、定休日を増やすことが難しい企業、事業場で活用されています。

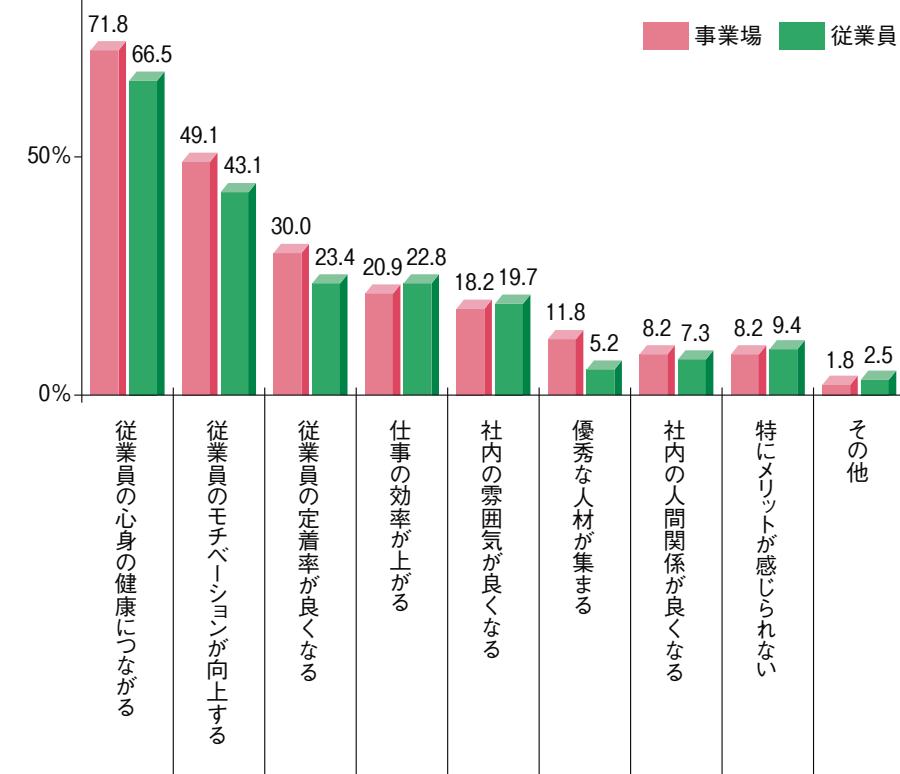
3 年次有給休暇付与計画表による個人別付与方式

年次有給休暇を付与する日を個人別に決める方法。夏季、年末年始、ゴールデンウィークのほか、誕生日や結婚記念日など従業員の個人的な記念日を優先的に充てるケースがあります。

従業員が年次有給休暇を取得することのメリット(複数回答)

平成27年度本事業アンケート調査結果より

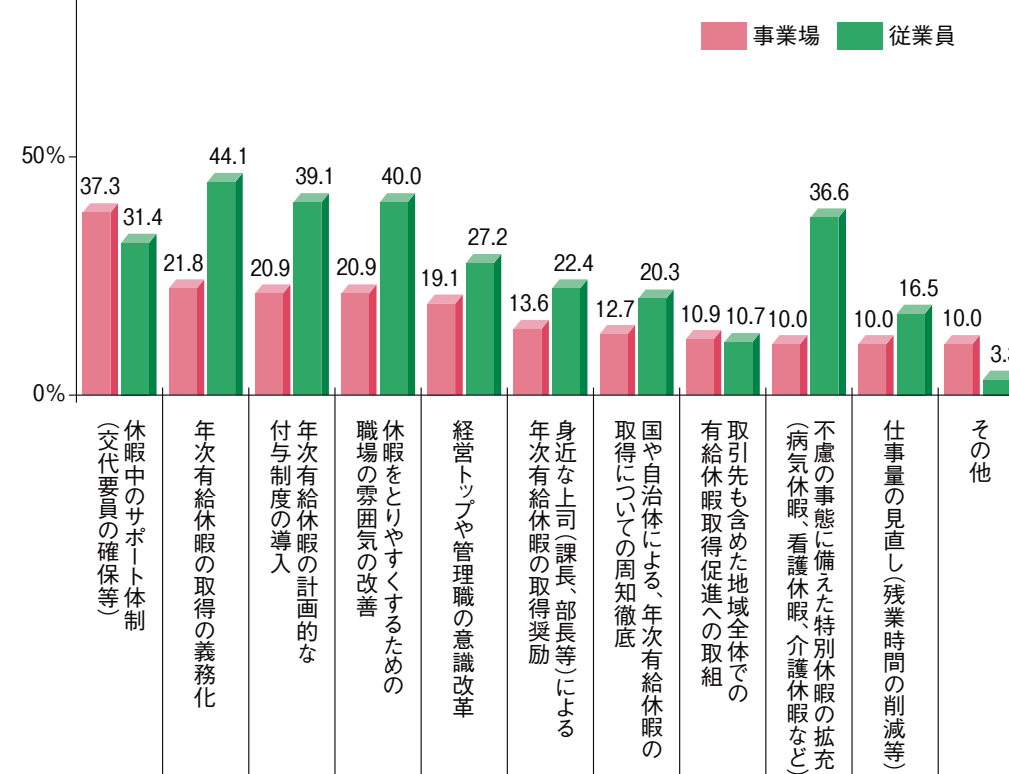
■ 事業場 ■ 従業員



年次有給休暇を取得しやすくするために必要な取組(複数回答)

平成27年度本事業アンケート調査結果より

■ 事業場 ■ 従業員



ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を地域で一体となって実施し、働く人にやさしく、住みやすい地域づくりを目指しましょう！